

「スタバに学ぶ自立型人材」

●講師紹介 目黒 勝道氏

ドミノピザ人事部にて教育、人事の基礎構築に従事。スターバックスコーヒージャパンに入社後は組織・人材開発マネージャーとして組織力向上施策を展開。現在は独立し、トリプル・ウィン・パートナーズ代表として活躍中。

●講演内容

目黒氏には、スターバックスコーヒージャパン勤務での経験から、自立型人材になるための3つのポイント（右写真参照）を柱にして話をいただきました。講演中、自分の将来について、友達とのかかわり方、自分の時間の使い方について生徒同士でディスカッションする時間もあり、普段の生活を見直して、より主体的に動き、問題を解決できる人間となる術を学びました。

スターバックスでは、お客様に感動体験によって喜びと潤いを提供するために、スタッフがお客様のニーズを察知し、自分ができる最大限のサービスを、心を込めて提供なさっていたそうです。生徒の皆さんも、周りの仲間たちとともに高め合いながら、自己実現に向けてチャレンジ精神をもって自分のできる最大限の能力を発揮し、今後の人生を豊かなものにしてほしいと考えます。

講演の最後は、スターバックスコーポレーション CEO のハワード・シュルツ氏の言葉で締めくくられました。

**私たちスターバックスは、コーヒーを売るために商売をしているのではない。
人々に喜んでもらいたいと想い、
その手段としてコーヒーを取り扱っているにすぎないのだ**



講演感想文

- 私が今回の講演の中で一番印象に残っているのは“やりがいのある仕事”はやってみないとわからない！ということです。何が本当に自分にとって“やりがいがある”のか分からなかったけど、それはやっていくうちに分かるものだと知って、なんだか少し安心しました！
- 「何のために働くか」と言われて最初に思いつくことといたら、暮らしていくためとか、お金を稼ぐためですが、それだけではなく、「人のために」働くことが大切になるとわかりました。日々の生活にうるおいを与えるために働けば、会社をより発展させることができたり、少なくとも自分の周りの環境を明るくしたりできると思いました。私もそういう働き方をしたいです。
- ドミノピザの、「扉の向こうに幸せがあり、その幸せのためにピザを届けているんだ」という考え方に感動しました。何か物事に取り組むときに、やることだけに集中して意味や目的を忘れてしまうことがあります。ドミノピザのように意味や目的が明確にあることで、やりがいや楽しさというものが出てくると思っています。これは勉強に対しても通用するので、もう一度何のために勉強しているかを考えてみたいなと思いました。